

実行委員会からのお知らせ

浦安が「安心して子どもを産み育てることのできる街」でありたいと、浦安市内で妊娠期から乳幼児期の子育てを応援している市民団体・企業・行政が集まり、ブース出展やサークル体験、活動発表などを行う「子育て応援メッセ」。毎年秋に開催し、9回目の開催となる2013年も9月28日（土）に無事に開催できました。当日は2,720名もの多くのパパ・ママそして子どもが集まり、サポーターの皆さんと楽しい時間を過ごしていただきました。※当日の様子は表紙をご覧ください。

★ 今年は2014年9月27日（土）に開催決定！

浦安の子育て情報と子育て応援隊が集まる子育て応援メッセ、今年は9月27日（土）に開催します。

子育て応援メッセの情報は、<http://kosodatemesse.net/>で随時更新予定です。また、イベント詳細が掲載されたパンフレットを8月下旬以降に市内各所で配布予定です。

★ 2014年度の実行委員になりませんか？

「浦安の子育てを応援したい！」そんな皆さんの実行委員としてのご参加をお待ちしております！ 実行委員のみなさんには、イベントの運営について年3回開催の実行委員会への参加やイベント前日・当日の運営協力です。

ご興味をお持ちいただいた方は是非お問い合わせください。

★ 事務局で広報を手伝ってください！

事務局で、ホームページの更新など情報発信・広報活動の協力を頂ける方を募集しています。できるときにできる範囲で大丈夫です。お気軽にご連絡下さい。

★ ワークショップやブースに出展しませんか？

子育て応援メッセでは、当日のイベントの出展ブースや、ワークショップ、体験会などの出展団体・企業を公募します。

今年は5月初めよりホームページ等で応募要項の配布を開始する予定です（締切は6月末）。「浦安の子育てを応援」して下さる皆様からのご応募をお待ちしています。

★ 当日の運営ボランティアさんも募集！

子育て応援メッセの前日・当日のボランティアさんを募集しています。会場設営や装飾、当日の受付のお手伝いをお願いします。

【お申込・問合せ】

子育て応援メッセ事務局 Tel. 047-350-8615
<http://kosodatemesse.net/>
「浦安子育てメッセ」で検索

2013年度 実行委員のご紹介

浦安市こども部こども家庭課

このまちで育ててよかった、育ててよかった。そう思われるまちになるため、子育て支援に取り組んでいます。

NP0 法人 i-net 明海つどの広場子育てテラスふらっと

「子育てサロン」「一時保育」の運営を通じて、乳幼児期の子育てを応援しています。<http://furatto.npo-i.net/>

家族・子育て相談室「ゆずり葉」

子育て中の不安や心配、家族関係や自分自身の悩み等を解決するため、カウンセリング（今川）やセミナーを提供。

NP0 法人発達わんぱく会（こっこ）

子育て支援、児童発達支援、療育・こころとことばの教室こっこ運営（東野校・新浦安校・当代島校）など。

浦安おはなしの会

乳児からお年寄りまで幅広い方を対象に、読書の楽しさを分かち合いたいと願い多様な取り組みを展開しています。

特定非営利活動法人タオ

障がいを持つ方への就労支援をあったかぼっこ、ひだまりカフェ、絆、浦安ワークステーションなどで行っています。

NP0 法人 i-net MY 浦安

妊婦さんや、未就学児を抱える子育て世帯を対象とした子育て情報の提供や交流のお手伝い。

Hand to Heart

ベビーマッサージ他子連れイベントを展開中。ハッピーな子育てを応援します。老人施設でのボランティアも。

千葉県インテリアコーディネーター協会

インテリアに関する勉強会、情報交換、一般向けイベント開催など、月に一度、Wave101にて定例会を開催。

手づくりカード協会

思いやりの心を育む手作りカードの普及活動を行っています。「世界中を思いやりの心で満たしたい！」が目標です。

田下啓子

個人として浦安の子育てを応援したいと3回目の参加。

松岡陽子

浦安の子育てを応援したいと参加。

共催：公益財団法人浦安市施設利用振興公社

浦安の妊娠～乳幼児期の子育てを応援しています♪



子育て応援新聞



第2号 発行日：2014年3月25日 制作：子育て応援メッセ実行委員会



教えて！新制度&少子化対策基金で
「わたしの子育て」どう変わるの？

次回の子育て応援メッセは
2014年9月27日（土）開催！

子ども・子育て新制度 & 少子化対策基金で 「わたしの子育て」 どう変わるの？



国では平成 27 年度から「子ども・子育て新制度」が始まるって知っていましたか？

さらに、浦安市では一足早く平成 26 年度予算に「少子化対策基金」30 億円が積み立てられ、様々な取組みが始まるそうです。

浦安で暮らすわたしたちの子育て事情、大きく変わる気配。実際に何がどう変わるのか、浦安市こども部の金子昇部長に伺いました。

Ｑ．子育て環境は良くなりますか？

Ａ．浦安の子育て環境はより良くなります！

浦安市では、平成 27 年度からの「新制度」に先駆け、独自に「基金」も設け、結婚から妊娠、出産・育児・就園・就学まで切れ目のない施策で支援を続ける体制を作ります。

多様な支援サービスの取組みが始まり、浦安の子育て環境はより良くなると思います。



Ｑ．具体的には何がどうなるの？

Ａ．こんな支援が新設（拡充）されます。

新制度と基金により、多様な取組みが実施されます。特に子育て中のご家庭に関心の高いものを紹介します。

(1) 一人ひとりに寄り添う子育てケアプランの作成

浦安市認定の子育てケアマネジャーにより、妊娠から出産、育児、就園、就学まで切れ目のない支援が行われます。

必要な支援は、家庭により異なりますが、ケアマネジャーが個別に対応しニーズに添ったケアプランを作成します。

(2) 公立幼稚園等を活用したリフレッシュ保育

保護者ニーズの高い一時預かり保育も拡充していきます。現在も認可園等で行っていますが、定員枠の限りもあり、予約なしでは利用できません。また事前の登録など手続きも煩雑です。

今回、浦安市ではこうしたニーズに対応し、簡易な手続きで利用できるリフレッシュ保育を、公立幼稚園等の活用により、平成 26 年度中に以下 3 か所新設する予定です。

- ・元町：猫実 1 丁目（旧第 3 教職員住宅）
- ・中町：富岡幼稚園
- ・新町：日の出幼稚園

(3) 月 64 時間のパートでも認可保育園の利用も可能に

従来の制度では、安価で良質な保育が受けられる認可保育園は、フルタイム就労の方が中心に利用していましたが、新制度ではパートタイム就労の方にも利用しやすいように変わります。新制度では、保護者の方の就労時間によって認定を受ける事になりますが、フルタイム就労の方は保育標準時間認定、パートタイム就労の方は保育短時間認定になります。

浦安市では、パートタイムでも月 64 時間以上の就労があれば、支給認定を受けることができるようになります。今まで、認可保育園を利用するには、フルタイムでなければ・・・といったハードルが下がるのではないのでしょうか。

(4) 平成 27 年には保育園定員 500 人分の枠の拡充

「そんなにハードルを下げてしまって受け皿はあるの？」とご心配でしょう。浦安市では、ニーズ調査の結果から、必要見込を算出し、以下の取組みで約 500 人分の枠の拡大を考えています。

- ・認定こども園（明海地区）の新設
- ・認可保育園（北栄）の新設
- ・公立幼稚園 8 園での預かり保育の実施（3～5 歳児 5 園、4～5 歳児 3 園）
- ・認可外保育園から認可保育園への移行（3 園）
- ・保育ママ、小規模保育園など

給認定」といいます。)を受ける必要がでてきます。浦安市からは、「認定証」が発行されますので、認定された内容に応じて、認定こども園、幼稚園、保育所、家庭的保育、小規模保育などの中から、それぞれのニーズに合った施設や事業が利用できます。

平成 26 年度予算にある 「少子化対策基金」ってなあに？

浦安市では新制度とは別に、独自の取組み「少子化対策基金」として 30 億円を積み立てることを 26 年度予算に計上しています。

▶ なぜ今「少子化対策基金」？

浦安市は子どもや若者の割合が高く若い自治体だといわれています。しかし、そんな浦安でも、来年 3 月には小学校の統廃合が実施されるなど着実に少子化の波は押し寄せています。

以前は「少子化」といえば地方や山間部の問題でしたが、最近では、地方等から流出した若い世代が、都市部で満足な子育て環境が得られず結果として出生率が低下し「少子化」に至るといったことも問題とされています。そして、それは地方が消滅する極点社会の到来、国の衰退化につながるとも言われています。

子育て応援メッセージ・アンケート結果から見る 「子ども・子育て新制度」

子育て応援メッセージ実行委員会では、2013 年 9 月 28 日開催の子育て応援メッセージ 2013 にて「子ども・子育て支援新制度」や「子育て支援ニーズ」についてのアンケートを実施しています。

今回は、そのアンケート結果と、今回の浦安市の動向を実行委員会と比較してみました。

▶ 新制度についてどのくらい知っていますか？

平成 27 年度に新制度が始まることを知っていたのは、わずか全体の 11％でした。なんとなく知っていたがよくわからないが 27％。半分以上の人は制度のことも、27 年度スタートのことも知らない状況でした。

自分たちのことであっても、なかなか理解がされていないのが実情のようです。

▶ みんなの必要なサービスは形になるの？

子育て応援メッセージ当日の来場者アンケートでは、浦安で欲しい子育て支援の 1 位から 10 位は以下の通りの結果となりました。

<みどりの色の項目>

これらは、今回の新制度や基金で、新設または拡充されることが見えている項目です。7 項目が対応されることで、より子育てしやすい街になることが期待されます。

<オレンジ色の項目>

一方で、在宅子育て家庭を対象とした定期保育や夜間・休日の預かり、就労時の病後児や緊急時の保育の 3 項目は、まだ具体的な事業として拡充が見込まれていない項目です。今後に期待です。

必要な支援サービス 上位 10 項目	
1 位	親子で行ける子育てサロン等の屋内での遊び場・交流の場
2 位	屋外で子どもがのびのび遊べるプレーパークなどの遊び場
3 位	待機児の解消（認可保育園の定員増）
4 位	リフレッシュや緊急時のための一時保育（平日日中）
5 位	市立幼稚園での 3 年保育の実施園増
6 位	幼稚園入園までの年齢の定期的な預かり保育
7 位	リフレッシュや緊急時のための一時保育（休日夜間）
8 位	気軽に子育てを相談できる場所・相手
9 位	就労支援のための病後児や残業時の保育サポート
10 位	必要な子育て情報が得られるホームページ

平成 27 年 4 月からはじまる 「子ども・子育て新制度」ってどんな制度？

子ども・子育て支援新制度は、子育てを介護や医療、年金と同じように社会保障の枠組みの中に位置づけ、社会全体で子どもと子育てを支援する仕組みです。一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を目指して、平成 24 年 8 月に子ども・子育て関連 3 法が成立しました。この法律に基づき、平成 27 年 4 月から「子ども・子育て支援新制度」が全国的にスタートする予定です。

▶ 新制度でなにが良くなるの？

すべての子どもに良質な育成環境を保障し、一人ひとりの子どもが 健やかに成長することができる社会を実現することを目的に以下の取組みが進められます。

- ① 質の高い幼児期の教育・保育を総合的に提供。
- ② 保育の量的拡大・確保。
- ③ 地域の子ども・子育て支援の充実。

▶ 社会全体で費用を負担（消費税で確保）

財源には、消費税の 増収（平成 26 年 4 月に 8％、平成 27 年 10 月に 10％を予定）の一部を充て、子ども・子育て支援の財源が拡充されることになりました。社会全体で新制度の財源を支えます。

▶ 取組みを進めるのは「浦安市」

この取り組みは、住民に最も身近な市町村（浦安市）が幼児期の教育・保育、子育て支援のニーズを把握し、認定こども園・幼稚園・保育所などの整備を 計画的に進めていきます。

浦安市では「地方版子ども・子育て会議」が設置され、4 回目の会議を終えています。また市民ニーズの調査・集計を終えました。今後、必要とされる供給量の見込みを元に、実施計画が作成されます。

▶ 保育所等を利用したい人は「支給認定」を受けて！

新制度では保育利用には保育の必要性を認定してもらうことが必要になります。

幼児期の教育と、保育の必要性のある子どもへの保育を、個人の権利として保障する観点から、こども園・幼稚園・保育所・小規模保育等を通じた給付制度が導入されます。平成 27 年度からは幼稚園や保育所などの利用を希望する場合には、浦安市に申請して保育の必要性等の認定（「支

こうしたことから、国や地方自治体で、少子化対策は喫緊の課題として認識されているところです。そんな中で、内閣府や厚労省からの要請を受け、若い浦安だからこそ、全国に先駆け「少子化対策基金」を創立したそうです。

10 年先を見据えて、今できることはなんでもやる！という意気込みで、全国の市町村のモデルとなることを浦安から発信したいと考えているそうです。（2014 年 2 月 1 日こにちは市長室です参照）

▶ とにかく子育て世代のニーズを聞いて動き出す！

基金の具体的な活用施策として 26 年度予算では、婚活支援や不妊治療での男性への助成、産後サポート検討、リフレッシュ一時保育などが盛り込まれています。基金で何が始まるのですか？と質問したところ、「平成 26 年度は、結婚、妊娠、子育てに渡る切れ目のない支援を子育てケアマネジャーによる子育てケアプランの作成などを含むこどもプロジェクト事業を中心にスタートさせるが、子育て世代のニーズを聞いて、こんな環境になれば安心して子どもが産めるという支援を手探りで走りながら考えていきたい。」とおっしゃっていたのが印象的でした。

子育てしやすい街、浦安というイメージがありますが、これからは「子育てするなら浦安で」をキャッチフレーズに、今まで以上に少子化対策として子育て支援に力をいれていくとのことでした。